

平成 20 年 度

宇土市水道事業会計決算審査意見書

宇 土 市 監 査 委 員

宇 市 監 第37号
平成21年 6月22日

宇土市長 田 口 信 夫 様

宇土市監査委員 吉 永 榮 治
宇土市監査委員 福 田 慧 一

平成20年度宇土市水道事業会計決算審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された,平成20年度宇土市水道事業会計の決算審査を実施したので,その結果について次のとおり意見書を提出します。

目 次

1. 審査の期間	2
2. 審査の方法	2
3. 審査の結果	2
(1) 事業の概要について	3
(2) 予算の執行状況について	3
(3) 経営状況(損益計算書)について	5
(4) 財政状況(貸借対照表)について	6
4. むすび	7
資料	8 ~ 11

1. 審査の期間

平成21年5月12日から5月26日まで

2. 審査の方法

決算審査にあたっては、市長から送付された決算報告書・その他財務諸表が法令の規定に基づいて作成され、かつ水道事業の経営成績及び財政状態を正しく表示しているか否かについて、会計帳簿並びに関係諸帳簿との照合を行うとともに必要に応じて関係職員の説明を求め実施した。

3. 審査の結果

審査に付された決算報告書・その他財務諸表は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、計数的にも会計帳簿、関係諸帳簿を照合した結果正確であり、当年度の経営成績及び財政状況を適正に表示しているものと認めた。

以下、水道事業の概要については、次のとおりである。

(1) 事業の概要について

本市の水道事業概要は次のとおりで、前年度と比較すれば、給水戸数で712戸、給水人口で397人増加し、給水量(有収水量)においては年間113,676^m、1日平均(有収水量)で328^m増加している。

種 別		単 位	平成20年度	平成19年度	前年度との比較	
					増減()	指数(%)
行政区域内	人 口	人	38,403	38,581	178	99.54
	戸 数	戸	13,855	13,715	140	101.02
給水区域内	人 口	人	29,533	29,457	76	100.26
	戸 数	戸	10,684	10,507	177	101.68
現在給水	人 口	人	23,460	23,063	397	101.72
	戸 数	戸	8,558	7,846	712	109.07
普及率	人 口	%	79.4	78.3	1.1	101.40
	戸 数	%	80.1	74.7	5.4	107.23
メーター器設置数		個	9,572	9,076	496	105.46
年 間	配水量 (A)	^m 3	3,034,016	2,993,395	40,621	101.36
	有収水量 (B)	^m 3	2,426,657	2,312,981	113,676	104.91
	無収水量 (C)	^m 3	117,919	200,495	82,576	58.81
	有収率 B÷A	%	80.0	77.3	2.7	103.49
	有効水量 (D)=B+C	^m 3	2,544,576	2,513,476	31,100	101.24
	有効率 D÷A	%	83.9	84.0	0.1	99.88
1日配水能力		^m 3	10,200	10,200	0	100.00
1日最大配水量		^m 3	9,211	9,392	181	98.07
1日平均	配水量	^m 3	8,312	8,179	133	101.63
	有収水量	^m 3	6,648	6,320	328	105.19
1人1日平均給水量			283.4	274.0	9.4	103.43
配水管延長		m	124,423	124,171	252	100.20

(2) 予算の執行状況について

(資料第1表参照)

イ. 収益的収入及び支出(消費税込み)

水道事業収益..... 予算現額490,004,000円に対し,決算額は490,318,563円(収入率100.06%)で314,563円の増額となっている。これを決算額について前年度と比較してみれば59,514,922円(113.81%)の収入増である。

配水量・・・上水道総水量

有収水量・・・料金の伴う水量

無収水量・・・料金の伴わない水量

有効水量・・・工事用,洗菅,消防用に要する水道量を含む

無効水量・・・不明水

配水量 = 有効水量 + 無効水量

有効水量 = 有収水量 + 無収水量

無収水量 = 有効水量 - 有収水量

原水及び配水費・・・管理建設係予算

総係費・・・庶務係予算

水道事業費……………予算現額480,183,000円に対し決算額は467,937,400円(執行率97.45%)12,245,600円の不用額(内訳は営業費用8,242,184円,営業外費用1,715,386円,特別損失288,030円,予備費2,000,000円)となっている。これを決算額について,前年度と比較してみれば385,888円(0.08%)の支出減となる。

次に本年度事業収益及び事業費の主なものをみると,次のとおり事業収益においては,水道料金収入が決算額の87.34%を占め,事業費では受水費41.34%,減価償却費22.96%,職員給与費9.32%等の順になっている。

(単位:円,%)

事業収益			事業費		
科目	決算額	構成比	科目	決算額	構成比
水道料金	428,227,550	87.34	職員給与費	43,630,458	9.32
手数料	1,327,586	0.27	委託料	18,989,857	4.06
材料売却収益	1,629,980	0.33	修繕費	17,159,042	3.67
その他の雑収益	12,654,364	2.58	動力費	26,442,853	5.65
他会計補助金	46,000,000	9.38	受水費	193,437,590	41.34
その他	479,083	0.10	減価償却費	107,440,202	22.96
			企業債利息	35,619,965	7.61
			材料売却原価	1,463,445	0.31
			その他	23,753,988	5.08
計	490,318,563	100.00	計	467,937,400	100.00

ロ. 資本的収入及び支出(消費税込み)

資本的収入……………予算現額16,411,000円に対し決算額は14,014,829円(収入率85.40%)で2,396,171円の減額となっている。これを決算額について,前年度と比較してみれば301,797,865円(95.56%)の収入減である。

資本的支出……………予算現額100,181,000円に対し決算額は,94,523,243円(執行率94.35%)で5,657,757円の不用額となっている。

これを決算額について,前年度と比較してみれば305,183,066円(76.35%)の支出減となる。

また,不用額5,657,757円の内訳は,建設改良費3,656,404円,予備費2,000,000円等である。

本年度資本的収入及び支出の決算状況は次のとおりである。

(単位:円,%)

科 目		決 算 額	構 成 比	備 考
収 入	企 業 債	0	0.00	
	出 資 金	0	0.00	
	国 庫 補 助 金	0	0.00	
	加 入 金	13,671,000	97.55	新規加入分
	負 担 金	343,829	2.45	
	固 定 資 産 売 却 代 金	0		
	計	14,014,829	100.00	
支 出	建 設 改 良 費	52,699,596	55.75	設備拡張費 37,245,600 設備改良費 14,402,606 営業設備費 1,051,390
	企 業 債 償 還 金	41,823,647	44.25	
	雑 支 出	0		
	予 備 費	0		
	計	94,523,243	100.00	

(3) 経営状況(損益計算書)について (資料第2表参照)

経営状況は損益計算書で示すとおり、総収益469,315,312円に対し、総費用は446,705,007円で、差引22,610,305円が本年度の純利益となっている。

また、総収益は64,954,511円(走潟地区配水管拡張分の収益増及び一般会計補助金)となっている。これに対して総費用は9,555,502円減額している。これは主に職員給与費、修繕費等の減額によるものである。

総収益、総費用について過去5ヶ年間の推移を示すと次のとおりである。

(単位:円,%)

区分 年度	総 収 益		総 費 用		損 益
	金 額	指 数	金 額	指 数	金 額
平成16年度	388,714,519	100.00	410,396,239	100.00	21,681,720
平成17年度	399,974,644	102.90	407,929,864	99.40	7,955,220
平成18年度	402,859,021	103.64	422,823,815	103.03	19,964,794
平成19年度	404,360,801	104.03	456,260,509	111.18	51,899,708
平成20年度	469,315,312	120.74	446,705,007	108.85	22,610,305

上記は、平成16年度を100と定め、平成20年度までの指数をあげたものである。

(4) 財政状況(貸借対照表)について (資料第3表参照)

財政状況は貸借対照表で示しているとおりであるが、科目ごとに主な移動状況を見てみると次のとおりである。

イ 固定資産

有形固定資産.....前年度3,137,048,155円に対し本年度は3,078,946,770円で58,101,385円の減となっている。

内容については次のとおり

資産の増.....50,240,158円

(構築物)	49,188,768円	
走潟地区上水道配水管布設拡張工事(その1~その4)		26,935,000円
旭町地区配水管布設改良工事		1,460,000円
立岡地区配水管布設拡張工事		2,590,000円
境目地区・三日地区配水管布設拡張工事		3,777,000円
石橋地区配水管布設改良工事(測量設計業務委託含む)		7,730,000円
上松山地区配水管布設改良工事(")		5,986,768円
他2件		710,000円
(機械及び装置)	1,051,390円	
メーター器購入		1,051,390円

資産の減..... 3,924,298円

(構築物)	3,924,298円	
石橋地区配水管布設改良工事		962,820円
上松山地区配水管布設改良工事		2,961,478円

減価償却..... 当年度増加額 107,440,202円
当年度減少額 3,022,957円

ロ 流動資産

未収金.....前年度114,065,351円に対し本年度は115,959,860円で1,894,509円の増となっている。

本年度末の未収金は次のとおりである。

(単位:円)

年度	水道料金	手数料他	消費税還付他	計
平成20年度分	22,359,020	771,975	345,000	23,475,995
過年度分	92,150,556	303,309	30,000	92,483,865
合計	114,509,576	1,075,284	375,000	115,959,860

貯蔵品..... 前年度11,121,604円に対し本年度は10,957,764円で163,840円の減となっている。

本年度末の内容については次のとおりである。

(単位:円)

区分	平成20年 3月31日現在	平成20年度中の増減		平成21年 3月31日現在
		増	減	
量水器	612,810	5,437,130	3,815,700	2,234,240
材料	4,298,780	1,015,235	953,365	4,360,650
その他	6,210,014	1,222,780	3,069,920	4,362,874
計	11,121,604	7,675,145	7,838,985	10,957,764

ハ 流動負債

未払金... 本年度19,763,616円となっているが、これは営業費用10,740,816円、消費税9,022,800円である。

その他流動負債... 本年度94,887,743円となっているが、これは指定工事店の保証金3,840,000円、下水道料金未払分90,804,330円、その他243,413円である。

二 資本金

自己資本金... 1,020,857,553円となる。

借入資本金 ... 本年度企業債未償還残高41,823,647円の減額となって1,591,343,082円となる。

ホ 剰余金

資本剰余金... 加入金13,020,000円,消火栓設置負担金343,829円が増加となっている。

利益剰余金 ... 当年度未処分利益剰余金は,前年度からの繰越分2,686,558円に対し,当年度純利益22,610,305円であり,当年度未処分利益剰余金25,296,863円となっている。なお,積立金については,減債積立金16,789,880円,建設改良積立金49,000,000円で前年度と同額である。

4.むすび

平成20年度水道事業会計決算は,総収益469,315,312円で,前年度に比べ64,954,511円の増額である。これは,一般会計からの補助金46,000,000円が大きく影響している。主なものとして水道料金収入で407,835,767円と86.90%である。

一方,総費用は446,705,007円と9,555,502円の減額になっている。総費用の主なものとしては,受水費,減価償却費,企業債の償却利息,職員給与費等である。

この結果,経営収支は平成16年度から4年連続で赤字決算であったが,平成20年度は22,610,305円の純利益になった。これは,前述したように一般会計からの補助があったため,もしこれがなければ23,389,695円の純損失である。

本事業の経営にあたっては,給水原価と供給単価において原価割れが生じており,その差は昨年度に比べたら改善されたとはいえ,15.05円の差額が生じている。

また,当会計に大きな影響を及ぼす有収率であるが,昨年に比べ2.7%上昇し,80%になったが,目標数値としている90%を目指し,より一層の向上に努められたい。このためには漏水箇所の発見が大きいが,調査は外部委託によるものと,21年度からは,市職員が昨年度の研修成果を踏まえ,より一層の発見に努められたい。

次に,平成20年2月から給水開始された走瀉地区における加入率であるが,21年5月末現在加入世帯は,392世帯と65.7%である。目標数値の今年度80%を達成されるため,旧来からの住居世帯を中心に加入促進をお願いする。

また,未収金が昨年度より10,223,684円増の115,959,860円となっている。これは将来的に本事業を大きく圧迫する要因にもなり,その対応に当たって特に悪質な滞納者については,給水停止などの強い方策を取られるよう,また滞納には至らなくともその傾向にあるものに対しては,早めの措置を取られるようお願いする。滞納徴収の方法についても現行より収納率の向上を図るような方策を取られるよう要望する。

なお,昨年指摘したように,一部地域において条例等に基づかない無償給水があり,公共料金の公平性からも早急の解決を図られるよう要望する。

水道事業はいまでもなく,市民生活にとって不可欠な事業であり,供給にあたっては安全,安心は言うに及ばず,安定,安価での供給を住民は期待している。このようなことから前述した内容の解消で,よりよい経済効果を生むことが考えられるので,さらなる経営感覚に重点をおかれるよう期待する。

資料第1表

予 算 決 算 比 較 表

大区 区分	收支 別	区 分 科目別	平成20年度 (A)					平成19年度 (B)					前年度に対する決算対比	
			予算現額		決算額			予算現額		決算額			(A-B)	(A/B)
			金額	構成比	金額	構成比	予算対比	金額	構成比	金額	構成比	予算対比	増減	割合
	円	%	円	%	%	円	%	円	%	%	円	%		
収益的 収入 及び 支出	収入	事業収益	490,004,000	100.00	490,318,563	100.00	100.06	430,104,000	100.00	430,803,641	100.00	100.16	59,514,922	113.81
		営業収益	430,402,000	87.84	431,623,816	88.03	100.28	418,502,000	97.30	410,426,237	95.27	98.07	21,197,579	105.16
		営業外収益	59,601,000	12.16	58,694,747	11.97	98.48	11,601,000	2.70	20,377,404	4.73	175.65	38,317,343	288.04
		特別利益	1,000	0.00	0	-	-	1,000	0.00	0	-	-	0	-
	支出	事業費	480,183,000	100.00	467,937,400	99.99	97.45	503,185,000	100.00	468,323,288	100.00	93.07	385,888	99.92
		営業費用	428,418,000	89.22	420,175,816	89.79	98.08	450,354,000	89.50	424,123,380	90.56	94.18	3,947,564	99.07
		営業外費用	48,565,000	10.11	46,849,614	10.01	96.47	45,631,000	9.07	35,617,239	7.61	78.05	11,232,375	131.54
		特別損失	1,200,000	0.25	911,970	0.19	76.00	5,200,000	1.03	8,582,669	1.83	165.05	7,670,699	10.63
		予備費	2,000,000	0.42	0	-	-	2,000,000	0.40	0	-	-	0	-
		資本的 収入 及び 支出	収入 支出	資本的収入	16,411,000	100.00	14,014,829	100.00	85.40	309,111,000	100.00	315,812,694	100.00	102.17
企業債	0	0.00		0	0	0.00	174,800,000	56.55	174,800,000	55.35	100.00	174,800,000	0.00	
出資金	0	0.00		0	0	0.00	79,400,000	25.68	79,400,000	25.14	100.00	79,400,000	0.00	
国庫補助金	0	0.00		0	0	0.00	43,300,000	14.01	43,300,000	13.71	100.00	43,300,000	0.00	
加入金	16,000,000	97.50		13,671,000	97.55	85.44	8,000,000	2.59	14,805,000	4.69	185.06	1,134,000	92.34	
負担金	410,000	2.50		343,829	2.45	83.86	3,610,000	1.17	3,507,694	1.11	97.17	3,163,865	9.8	
固定資産売却代金	1,000	0.00		0	-	-	1,000	0.00	0	-	-	0	-	
資本的支出	100,181,000	98.50		94,523,243	100.00	94.35	404,788,000	100.00	399,706,309	100.00	98.74	305,183,066	23.65	
建設改良費	56,356,000	56.25		52,699,596	55.75	93.51	361,408,000	89.28	358,327,404	89.65	99.15	305,627,808	14.71	
企業債償還金	41,824,000	41.75		41,823,647	44.25	99.99	41,379,000	10.22	41,378,905	10.35	99.99	444,742	101.07	
雑支出	1,000	0.00	0	-	-	1,000	0.00	0	-	-	0	-		
予備費	2,000,000	0.50	0	-	-	2,000,000	0.50	0	-	-	0	-		

資料第2表

損 益 計 算 書 比 較 表

区 分 科 目 別	平成 20 年 度 (A)		平成 19 年 度 (B)		前 年 度 と の 比 較		
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	増 減	A / B	
1. 営 業 収 益	円 411,154,473	% 87.61	円 390,937,245	% 96.68	円 20,217,228	% 105.17	
給 水 収 益	407,835,767	86.90	386,752,643	95.65	21,083,124	105.45	
受 託 工 事 収 益	0	-	0	-	0	-	
そ の 他 の 営 業 収 益	3,318,706	0.71	4,184,602	1.03	865,896	79.31	
2. 営 業 費 用	407,972,326	90.31	412,073,256	90.31	4,100,930	99.00	
原 水 及 び 配 水 費	252,197,079	56.46	258,376,495	56.63	6,179,416	97.61	
総 係 費	45,970,259	10.29	56,096,702	12.29	10,126,443	81.95	
減 価 償 却 費	107,440,202	24.05	83,609,946	18.33	23,830,256	128.50	
資 産 減 耗 費	901,341	0.20	10,966,363	2.40	10,065,022	8.22	
そ の 他 の 営 業 費 用	1,463,445	0.33	3,023,750	0.66	1,560,305	48.40	
営 業 利 益 (1 - 2)	3,182,147	-	(営業損失) 21,136,01	-	24,318,158	15.06	
3. 営 業 外 収 益	58,160,839	12.39	13,423,556	3.32	44,737,283	433.27	
受 取 利 息 及 び 配 当 金	40,383	0.01	195,912	0.05	155,529	20.61	
雑 収 益	12,120,456	2.58	13,227,644	3.27	1,107,188	91.63	
他 会 計 補 助 金	46,000,000		0	-	46,000,000		
4. 営 業 外 費 用	37,826,814	8.47	35,617,239	7.81	2,209,575	106.20	
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	35,619,965	7.97	33,388,132	7.32	2,231,833	106.68	
雑 支 出	2,206,849	0.49	2,229,107	0.49	22,258	99.00	
経 常 利 益 (1 + 3) - (2 + 4)	23,516,172	-	(経常損失) 43,329,694		66,845,866	54.27	
5. 特 別 利 益	0	-	0	-	0	-	
過 年 度 損 益 修 正 益	0	-	0	-	0	-	
6. 特 別 損 失	905,867	0.20	8,570,014	0	7,664,147	10.57	
固 定 資 産 売 却 損	0	-	0	-	0	-	
過 年 度 損 益 修 正 損	905,867	0.20	8,570,014	1.88	7,664,147	10.57	
計	収 益 (1 + 3 + 5)	469,315,312	100.00	404,360,801	-	64,954,511	116.06
	費 用 (2 + 4 + 6)	446,705,007	100.00	456,260,509	1.88	9,555,502	97.91
	当 年 度 純 利 益	22,610,305	-	(純損失) 51,899,708	100.00	74,510,013	43.57
前 年 度 繰 越 利 益 剰 余 金	2,686,558	-	54,586,266	100.00	51,899,708	4.92	
当 年 度 末 処 分 利 益 剰 余 金	25,296,863	-	2,686,558	-	22,610,305	941.61	

資料第3表

貸借対照表比較表

区 分 科 目	平成20年度(A)		平成19年度(B)		前年度との比較		区 分 科 目	平成20年度(A)		平成19年度(B)		前年度との比較	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増 減 額	A / B		金 額	構成比	金 額	構成比	増 減 額	A / B
1. 固定資産	円	%	円	%	円	%	3. 流動負債	円	%	円	%	円	%
	3,079,114,282	88.15	3,137,215,667	90.04	58,101,385	98.15		114,651,359	3.28	99,896,925	2.87	14,754,434	114.77
(1) 有形固定資産	3,078,946,770	88.14	3,137,048,155	90.03	58,101,385	98.15	(1) 未払金	19,763,616	0.56	6,742,225	0.20	13,021,391	293.13
イ. 土地	81,103,014	2.32	81,103,014	2.33	0	100.00	(2) その他の流動負債	94,887,743	2.72	93,154,700	2.67	1,733,043	101.86
ロ. 建物	51,034,353	1.46	53,094,622	1.52	2,060,269	96.12	4. 資本金	2,612,200,635	74.78	2,654,024,282	76.17	41,823,647	98.42
ハ. 構築物	2,639,976,783	75.58	2,672,414,725	76.70	32,437,942	98.79	(1) 自己資本金	1,020,857,553	29.22	1,020,857,553	29.30	0	100.00
ニ. 機械及び装置	305,008,135	8.73	328,358,025	9.42	23,349,890	92.89	(2) 借入資本金	1,591,343,082	45.56	1,633,166,729	46.87	41,823,647	97.44
ホ. 車両及び運搬具	866,451	0.02	1,037,451	0.03	171,000	83.52	5. 剰余金	766,332,554	21.94	730,358,420	20.96	35,974,134	104.93
ヘ. 工具器具及び備品	958,034	0.03	1,040,318	0.03	82,284	92.09	(1) 資本剰余金	675,245,811	19.33	661,881,982	19.00	13,363,829	102.02
ト. 建設仮勘定	0	-	0	-	0	-	イ. 受贈財産評価額	16,171,128	0.46	16,171,128	0.47	0	100.00
(2) 無形固定資産	167,512	0.01	167,512	0.01	0	100.00	ロ. 国庫補助金	278,000,000	7.96	278,000,000	7.98	0	100.00
イ. 電話加入権	167,512	0.01	167,512	0.01	0	100.00	ハ. 負担金	116,034,283	3.32	115,690,454	3.32	343,829	100.30
2. 流動資産	414,070,266	11.85	347,063,960	9.96	67,006,306	119.31	ニ. 加入金	265,040,400	7.59	252,020,400	7.23	13,020,000	105.17
(1) 現金預金	287,152,642	8.22	221,877,005	6.37	65,275,637	129.42	(2) 利益剰余金	91,086,743	2.61	68,476,438	1.96	22,610,305	133.02
(2) 未収金	115,959,860	3.32	114,065,351	3.27	1,894,509	101.66	イ. 減債積立金	16,789,880	0.48	16,789,880	0.48	0	100.00
(3) 貯蔵品	10,957,764	0.31	11,121,604	0.32	163,840	98.53	ロ. 建設改良積立金	49,000,000	1.40	49,000,000	1.40	0	100.00
(4) 前払金	0	-	0	-	0	-	ハ. 当年度末処分利益剰余金	25,296,863	0.72	2,686,558	0.08	22,610,305	941.61
資産合計	3,493,184,548	100.00	3,484,279,627	100.00	8,904,921	100.26	負債資本合計	3,493,184,548	100.00	3,484,279,627	100.00	8,904,921	100.26

資料第4表

経 費 分 析

種 別	区 分	算 定 方 式	算 定 基 礎	年 度 別 比 較		
				20	19	18
負 荷 率 (%)		$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日最大配水量}} \times 100$	$\frac{8,312}{9,211} \times 100$	90.24	87.08	88.06
施 設 利 用 率 (%)		$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	$\frac{8,312}{10,200} \times 100$	81.49	80.19	82.42
最 大 稼 働 率 (%)		$\frac{\text{一日最大配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	$\frac{9,211}{10,200} \times 100$	90.30	92.08	93.60
有 収 率 (%)		$\frac{\text{有収水量}}{\text{配水量}} \times 100$	$\frac{2,426,657}{3,034,016} \times 100$	79.98	77.27	75.53
有 効 率 (%)		$\frac{\text{有効水量}}{\text{配水量}} \times 100$	$\frac{2,544,576}{3,034,016} \times 100$	83.87	83.97	78.79
配水管使用効率 (m ³ / m)		$\frac{\text{配水量}}{\text{配水管延長}}$	$\frac{3,034,016}{124,423}$	24.38	24.11	26.89
固定資産使用効率 (m ³ / 万円)		$\frac{\text{配水量}}{\text{有形固定資産}}$	$\frac{3,034,016}{307,895}$	9.85	9.54	10.59
供給単価 (円 / m ³)		$\frac{\text{給水収益}}{\text{有収水量}}$	$\frac{407,835,767}{2,426,657}$	168.06	167.21	166.93
給水原価 (円 / m ³)		$\frac{\text{経常費用}}{\text{有収水量}}$	$\frac{444,335,695}{2,426,657}$	183.11	192.25	181.27 (182.45)
総収益対総費用率 (%)		$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	$\frac{469,315,312}{446,705,007} \times 100$	105.06	88.62	95.28
営業収益対営業費用比率 (%)		$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$	$\frac{411,154,473}{407,972,326} \times 100$	100.78	94.87	100.87
職員一人当たり営業収益 (千円)		$\frac{\text{営業収益}}{\text{職員数}}$	$\frac{411,154}{8}$	51,394	48,867	43,447

給水原価の算定方式のうち、分子については19年度より総費用から経常費用に改定した。(総務省通達)
 平成18年度数値:()は総費用での報告分

平成20年度宇土市水道事業会計決算審査意見書

発行 平成21年6月

発行者 宇土市監査委員事務局

〒869-0492

宇土市浦田町51番地

TEL 0964-22-1111

Fax 0964-22-6031(土木課)